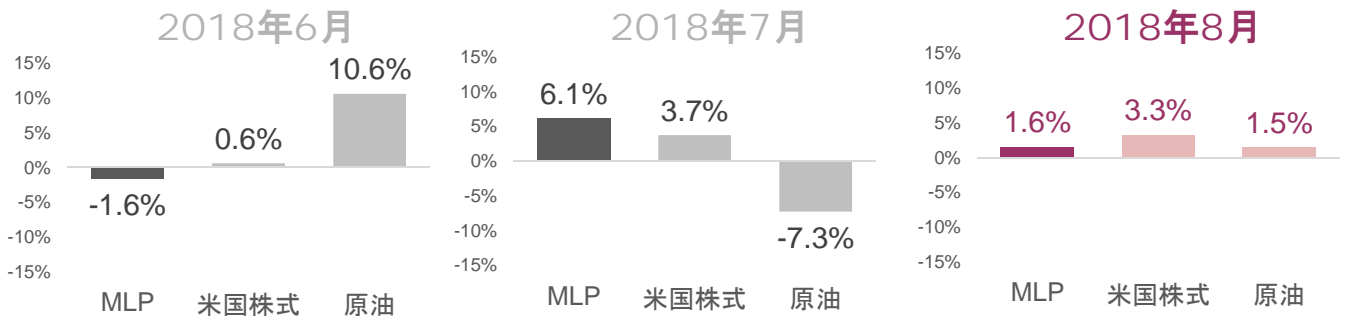


■当月のS&P MLP 指数の動き

8月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+1.6%と上昇しました。

S&P MLP 指数構成上位銘柄が好決算を発表したことや合併に関する最終合意を公表したことを受け、8月初旬は上昇基調となりました。しかしながら、中旬にかけては、トルコ・リラ急落に伴う投資家心理悪化などの影響を受け、下落基調となりました。その後、原油価格の上昇基調などを背景に、S&P MLP 指数は値を戻したものの、4-6月期決算発表が一巡し、個別銘柄の材料が乏しい中、月末にかけては再び下落基調に転じました。

■過去3カ月の主要指標の月次騰落率(米ドルベース、トータルリターン)



■主要指標の動き

MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	2018/8/31	2018/7/31	2018/5/31	2017/12/31	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,989.53	4,912.03	4,704.27	4,582.12	1.6%	6.1%	8.9%
プライスリターン	1,594.40	1,590.45	1,531.33	1,550.13	0.2%	4.1%	2.9%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	5,730.80	5,549.96	5,318.10	5,212.76	3.3%	7.8%	9.9%
プライスリターン	2,901.52	2,816.29	2,705.27	2,673.61	3.0%	7.3%	8.5%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	968.35	1,001.37	980.38	924.42	-3.3%	-1.2%	4.8%
プライスリターン	547.58	569.16	558.35	533.41	-3.8%	-1.9%	2.7%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,303.03	1,262.64	1,203.00	1,237.27	3.2%	8.3%	5.3%
プライスリターン	321.66	312.50	300.14	313.62	2.9%	7.2%	2.6%
米国ハイイールド債(ICE BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,286.52	1,277.27	1,258.81	1,262.20	0.7%	2.2%	1.9%
プライスリターン	76.47	76.32	76.01	78.21	0.2%	0.6%	-2.2%
米国10年国債利回り							
	2.86%	2.96%	2.85%	2.40%	-0.10	0.01	0.46
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	69.80	68.76	67.04	60.42	1.5%	4.1%	15.5%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.92	2.78	2.95	2.95	4.8%	-1.2%	-1.3%
米ドル(対円)							
	111.03	111.86	108.82	112.69	-0.7%	2.0%	-1.5%

※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■当月の出来事いろいろ

- 1日、S&P MLP 指数構成上位銘柄であるエンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ(EPD)が、2018年4-6月期決算において予想を上回る内容を発表。
- 2日、エナジー・トランスファー・エクイティ(ETE)がエナジー・トランスファー・パートナーズ(ETP)を統合するとの発表を受け、ETPの株価が前日比+14%となった。
- 7日の引け後に好決算を発表したプレーンズ・オール・アメリカン・パイプライン(PAA)は、8日に+6.7%と大幅高となった。
- トルコ・リラの急落とともに新興国通貨が下落し米ドルが上昇したこと、そして、OPEC(石油輸出国機構)が2018、19年の原油需要見通しを引き下げた一方、OPEC非加盟国の供給見通しを引き上げたことなどが嫌気され、WTI原油先物は中旬にかけて下落基調に。15日には1バレル=65.01米ドルを付けた。しかしながら、月末にかけては、米国が各国に求めているイラン産原油の取引停止に伴う供給減の影響などが意識されたこと、米利上げペースは速まらないとの見方の拡がりを背景に米ドル安となったことなどを受け、WTI原油先物価格は上昇基調に転じ、30日に70米ドル台を回復した。

■今後の注目点

- 米国の経済制裁下にあるベネズエラとイランに対する原油供給懸念が続く場合、原油価格の押し上げ要因となるとみられる。
- 米国のシェールオイルの生産増が続いている。WTI原油先物価格が、安定的な生産が可能な目処とされる約60米ドル超で推移する場合、今後もシェールオイルの増産は続く可能性が高いとみられる。

■S&P MLP 指数の上位構成銘柄のパフォーマンス

<S&P MLP 指数の時価総額構成上位5銘柄*と株価の月次騰落率>

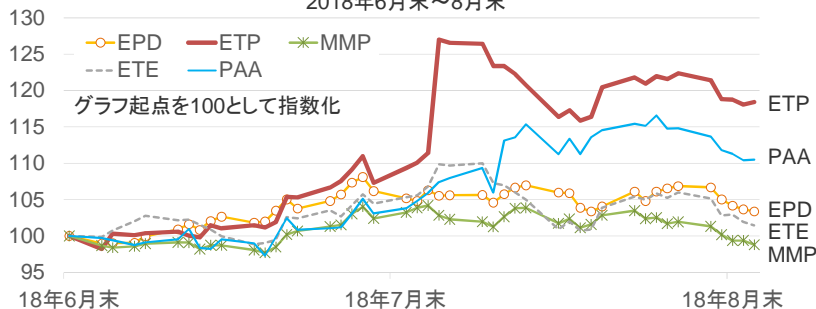
*上位構成銘柄は、2018年7月末時点

	銘柄名	略称	業種 (事業分類)	株価の月次騰落率	
				2018年 7月	2018年 8月
1	エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	EPD	石油・ガス 貯蔵・輸送 (川中)	4.8%	-1.4%
2	エナジー・トランスファー・パートナーズ	ETP		10.1%	7.6%
3	マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ	MMP		3.9%	-4.9%
4	エナジー・トランスファー・エクイティ	ETE		5.6%	-3.9%
5	プレーンズ・オール・アメリカン・パイプライン	PAA		4.8%	5.4%

※業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づく、事業分類は、日興アセットマネジメントによるもの

<同株価パフォーマンス>

2018年6月末～8月末



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

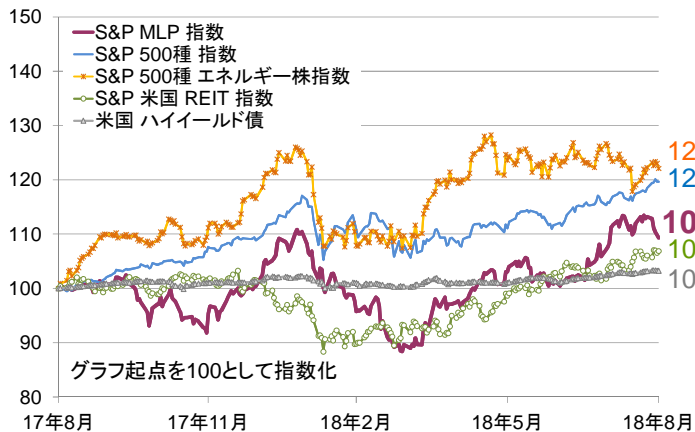
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

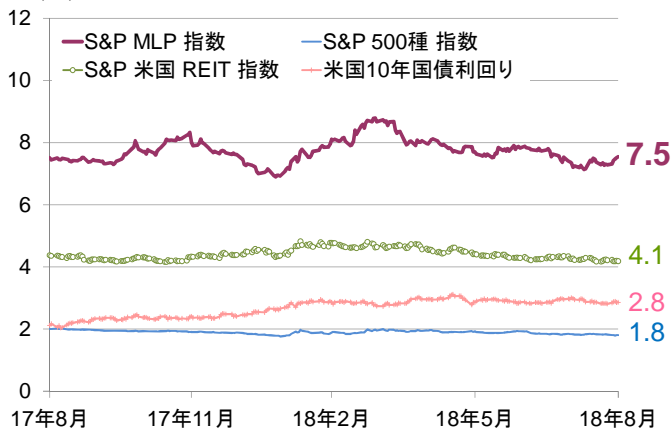
(2017年8月末～2018年8月末)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

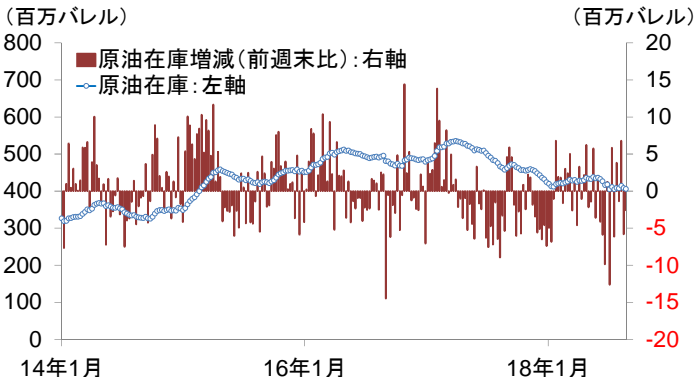
■各資産の利回り

(%) (2017年8月末～2018年8月末)



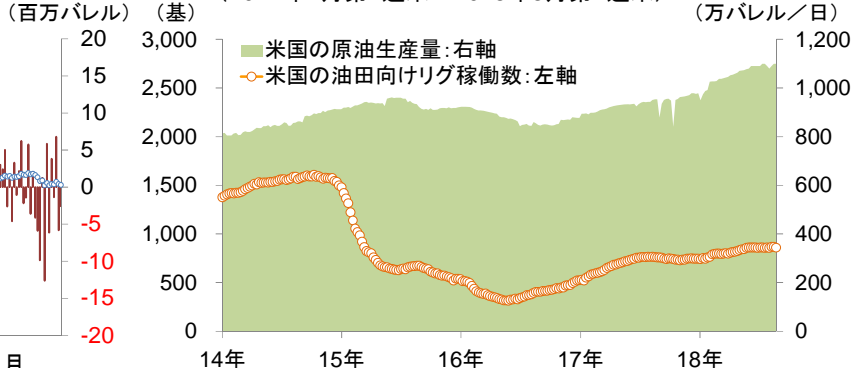
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2018年8月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

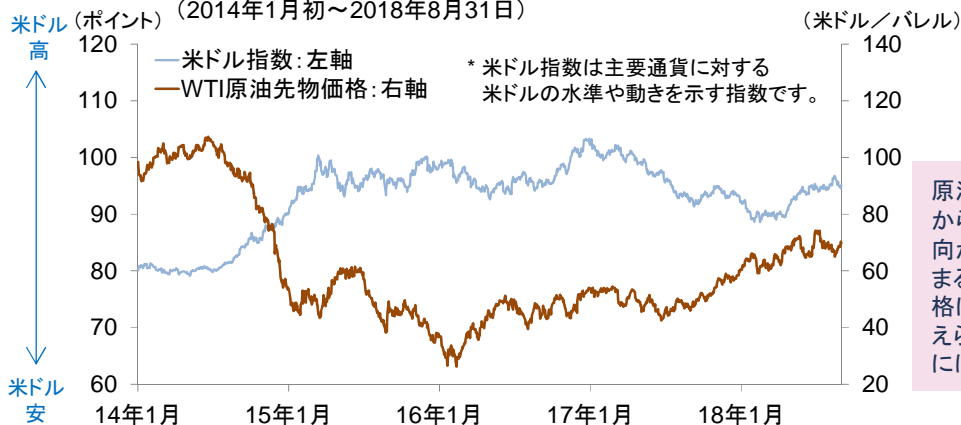
(2014年1月第1週末～2018年8月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給悪化懸念(改善期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給悪化懸念(改善期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2018年8月31日)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル高基調が強まる場合、割高感などにより、原油価格に押し下げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。